

1カ月で学べる西洋の書道「カリグラフィー」

英語で“美”文字

西洋の書道とも呼ばれるカリグラフィー。結婚式の招待状やメッセージカードなどで使われ、テクノロジーが浸透する現代においても、その手書きの温かみや美しさに多くの人々が魅了されています。あのステイブ・ジョブズも若かりし頃、中退した大学でカリグラフィーの授業に潜り込み、そこで得た知識を取り入れて開発したのが、美しいタイポグラフィを内蔵したアップルのマッキントッシュだったのです。

今回の特集では、カリグラフィーの概要や歴史に少し触れ、短いフレーズや英語の名言など、実際にカリグラフィーに挑戦してみたいいただきます。普段は伝えられない言葉も、美しい文字でならきっと誰かに届けたいくなることでしょう。

編集…竹内佑介・飯田恵美
英文校正…Dean Robson

The Wedding
Carlo Andriano Gandasubrata
Juliar Suryani Rapito
Friday, 11 December 2020
at
Hotel Fairmont
Jakarta
Le

著者：ヴェロニカ・ハリム

インドネシア・ジャカルタ在住のデザイナー＆カリグラファー。流れるような美しい書体とセンスあふれるアイデアやスタイリングは「ヴェロニカ・スタイル」と呼ばれ、SNSを中心に世界中に広まり、多くのファンを持つ。

著書に『カリグラフィー・ライフスタイル』『カリグラフィー・スタイリング』（ともに主婦の友社）がある。

alex74/Shutterstock.com (p.46, pp.48-51, p.55, pp.59-60 イラスト) /
Navalny/Shutterstock.com (p.45, p.47 イラスト) / それ以外の写真は Veronica Halim 氏提供



はじめに



「カリグラフィー」とは
文字の芸術。

どんなにデジタル化が
進んでも、手で紙に書
くことはなくならない
はず。

日々の暮らしの中で、
大切な人たちに気持ち
を込めたメッセージを
手書きの文字で贈って
みよう。

執筆 ヴェロニカ・ハリム



27

Technology pervades contemporary life. How is it affecting the way we read and write? Children quickly learn to use their hands not to turn pages but to swipe screens; not to crumple paper into balls but simply to click Delete; to record their thoughts not by wielding a pen but by typing into a screen. In this tech-savvy era, it's considered too troublesome to write letters and documents by hand at all, let alone in calligraphy. But I believe we need to appreciate and preserve the art of calligraphy like never before. Otherwise, it will be lost and forgotten.

テクノロジーは現代の生活に浸透しています。それは私たちの読み書きにどのように影響しているのでしょうか。子どもたちはページをめくるのではなく、(スマホなどの)画面をスワイプするのに手を使うことをすぐに覚えます。紙をくしゃくしゃに丸めるのではなく単に「削除」をクリックすることを、自分の考えをペンを使って書き留めるのではなく画面に打ち込むことを覚えるのです。テクノロジーが普及しているこの時代に、手紙や書類を手で書くことはあまりにも煩わしいとされています。カリグラフィーとなるとなおさらです。しかし、私たちはカリグラフィーという芸術をかつてないほどに理解し、守っていく必要があると思うのです。さもなければ、失われ、忘れられるでしょう。



My mission is to remind people that calligraphy is not only a beautiful art form but also a useful practice that's still relevant to our

私の使命は、カリグラフィーは美しい芸術形式であるだけでなく、現代の暮らしでも役立つ習わしだということの人々に思い起こさせることです。拙